

平成28年度事業報告書

自：平成28(2016)年4月1日

至：平成29(2017)年3月31日

事業の状況

I 公益目的事業

1 演奏家の育成事業(育成)

(1) 新進演奏家育成プロジェクト(文化庁委託事業)

新進演奏家育成プロジェクトは、文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」に申請し採択された事業で、文化庁と日本演奏連盟の共催事業として下記の①から④までの4つのプロジェクトを実施した。

＝文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

①「リサイタル・シリーズ」の開催

(札幌2回、東京10回、名古屋2回、京都1回、大阪4回、大分1回 計20回)

各地域で実技オーディションを実施し、将来有望な若手演奏家を選抜してリサイタル・デビューの場を提供した。リサイタルは、演奏家として活動していく上で避けて通ることのできない重要な演奏会であるが、同時に事務的かつ費用的に負担の重いものである。

当連盟では、若手演奏家がリサイタルという場で存分に力を発揮できるよう精神面また経済面で支えるとともに、プロの演奏家として活動していく上で重要なキャリア形成につながるよう全面的にサポートした。

・「リサイタル・シリーズTOKYO」東京文化会館小ホール

- #51 平成28年7月23日(土) 多賀谷祐輔ピアノ・リサイタル
- #52 平成28年8月27日(土) 北田法子ピアノ・リサイタル
- #53 平成28年9月9日(金) 北岡羽衣クラリネット・リサイタル
- #54 平成28年9月25日(日) 金子淳ピアノ・リサイタル
- #55 平成28年11月21日(月) 三宅晋クラリネット・リサイタル
- #56 平成28年11月26日(土) 松原友テノール・リサイタル
- #57 平成28年12月6日(火) 古川貴子ピアノ・リサイタル
- #58 平成29年1月11日(水) 今井俊輔バリトン・リサイタル
- #59 平成29年1月24日(火) 羽藤尚子ヴィオラ・リサイタル
- #60 平成29年2月18日(土) 漆原直美ヴァイオリン・リサイタル

・「リサイタル・シリーズOSAKA」いずみホール 協賛：いずみホール

- #21 平成28年7月20日(水) 田中正也ピアノ・リサイタル
- #22 平成28年8月3日(水) 田淵彩華ヴァイオリン・リサイタル
- #23 平成28年11月18日(金) 松田緑ソプラノ・リサイタル
- #24 平成28年12月1日(木) 蔭山晶子クラリネット・リサイタル

・「リサイタル・シリーズSAPPORO」札幌コンサートホールKitara 小ホール

- #11 平成28年12月16日(金) 青木晃一ヴィオラ・リサイタル
- #12 平成29年1月28日(土) 川本咲フルート・リサイタル

・「リサイタル・シリーズNAGOYA」ザ・コンサートホール(電気文化会館)

- #11 平成28年12月8日(木) 筒井恵美ピアノ・リサイタル
- #12 平成29年1月17日(火) 斉藤麻記ソプラノ・リサイタル

・「リサイタル・シリーズKYOTO」京都コンサートホール・アンサンブルホールムラタ

- #7 平成29年2月3日(金) 福代珠美フルート・リサイタル

- ・「リサイタル・シリーズO I T A」 iichiko 総合文化センター・音の泉ホール
#4 平成 29 年 2 月 21 日（火）本田ゆりこソプラノ・リサイタル
- ②「オーケストラ・シリーズ」の開催（6 回）
全国主要 6 都市において各地域のプロ・オーケストラの協力を得て共催事業として開催した。各地域の音楽大学、音楽団体、教育者等から推薦を受けた応募者を厳正なオーディションによって選抜し、合格者に地域のプロ・オーケストラと協演する機会を提供した。新人の演奏家にとってプロのオーケストラと協演するということは、たとえ実力をもってしてもなかなか叶えられるものではなく、共演することによって得るものは計り知れない。国の支援を得ることによってのみ実現可能な当シリーズは今後も継続して実施していかなければならない。
- ・第 31 回 名古屋 平成 29 年 1 月 18 日（水）愛知県芸術劇場コンサートホール
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮：梅田俊明
出演：亀居優斗 (Cl)、川添由梨香 (Pf)、田作幸介 (Fg)、篠山春菜 (Vn)
共催：(公財) 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- ・第 32 回 大阪 平成 29 年 1 月 26 日（木）ザ・シンフォニーホール
演奏：日本センチュリー交響楽団 指揮：現田茂夫
出演：世良法之 (Fl)、坂口航大 (Pf)、松本友樹 (Cb)、高橋宗久 (Vn)
共催：(公財) 日本センチュリー交響楽団
- ・第 33 回 仙台 平成 29 年 1 月 27 日（金）イズミティ 21 大ホール
演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：鈴木織衛
出演：久良木夏海 (Vc)、佐藤匠 (Bs-tb)、清和志保 (Sop)、大伏啓太 (Pf)
共催：(公財) 仙台フィルハーモニー管弦楽団
- ・第 34 回 福岡 平成 29 年 1 月 31 日（火）FFG ホール
演奏：九州交響楽団 指揮：金 洪才
出演：足立雄大 (Sax)、田北りえ (Sop)、石原まり (Vc)、前田紗希 (Pf)、
ゴウ芽里沙 (Pf)
共催：(公財) 九州交響楽団
- ・第 35 回 広島 平成 29 年 2 月 2 日（木）JMS アステールプラザ大ホール
演奏：広島交響楽団 指揮：岩村力
出演：増田結子 (Sax)、染谷春菜 (Vc)、石田真歩 (Mb)、柳原真希 (Pf)
共催：(公社) 広島交響楽協会
後援：中国新聞社
- ・第 36 回 札幌 平成 29 年 2 月 16 日（木）札幌コンサートホール Kitara 大ホール
演奏：札幌交響楽団 指揮：円光寺雅彦
出演：田中望未 (Pf)、吉田真樹子 (Sop)、三輪主恭 (Br)、
佐藤友美 (Fl)、島方瞭 (Vn)
共催：(公財) 札幌交響楽団／北海道新聞社
助成：(公財) 道銀文化財団
後援：北海道／札幌市／札幌市教育委員会
- ③「新進芸術家海外研修員コンサート」の開催（1 回）
文化庁新進芸術家海外研修制度により、海外で研鑽を積んだ新進演奏家の成果発表の場として、28 年度は 2 名の研修生によるジョイントリサイタルを開催した。
- ・平成 28 年 12 月 21 日（水）東京オペラシティ・リサイタルホール
出演：坂本彩 (Pf)、鈴木舞 (Vn)
- ④「フルーティストのための公開マスタークラス」 講師：高木綾子
国内外のトップクラスの演奏家を講師に招き、オーディションで選抜した若手演奏家に一流のステージで指導を受けてもらう事業。平成 28 年度は、国内外のコンクールで多

数の受賞歴を誇り、確かなテクニックと個性溢れる音色、ジャンルを超えた音楽性で、最も注目を集めている実力派フルーティストの高木綾子さんを講師に招き、東京と大阪で2日間の公開マスタークラスを実施した。受講生はDVD審査により選抜した高校生から大学生までで、数々のステージを積んだ高木氏ならではの的確かつ示唆に富んだ助言があり、非常に密度の濃い2日間の公開マスタークラスを開催することができた。

- ・平成28年11月24日(木) 東京/東京オペラシティ・リサイタルホール
受講生/清水伶、田邊実季、細川愛梨
- ・平成28年12月14日(水) 大阪/あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
受講生/濱口美咲、大村優希恵、酒田結

(2) 文化庁新進芸術家海外研修制度の協力<平成29年度派遣対象>

新進芸術家海外研修員の音楽分野の応募の取りまとめを行なった。

研修期間	日演連受付者数	左記の合格者数
1年研修(200~350日)	6名	1名
2年研修(700日)	1名	0名
計	7名	1名

2 音楽普及活動(自主公演)

「2017 都民芸術フェスティバル」の主催公演

=助成：東京都=

都民芸術フェスティバルは、東京都が助成する恒例のフェスティバルで新春の1月から春3月にかけて実施しているもので、今回で49回目を数えた。平成28年度は広範な芸術ジャンルのの中から11部門、168公演が実施され、当連盟はこのうちのクラシック音楽部門を下記のとおり開催した。

(1) オペラ(3団体 9公演)

- ・ビゼー作曲「カルメン」(公財)日本オペラ振興会・<直接事業>
藤原歌劇団公演 平成29年2月3日(金)、4日(土)、5日(日)3回公演
東京文化会館大ホール
- ・プッチーニ作曲「トスカ」(公財)東京二期会・<直接事業>
東京二期会オペラ劇場 平成29年2月15日(水)~19日(日)4回公演
東京文化会館大ホール
- ・原嘉壽子作曲・台本「よさこい節」(公財)日本オペラ振興会・<直接事業>
日本オペラ協会公演 平成29年3月4日(土)、5日(日)2回公演
新国立劇場中劇場

(2) オーケストラ(8団体 8公演) 東京芸術劇場コンサートホール

- ・平成29年1月13日(金)演奏：日本フィルハーモニー交響楽団
指揮：角田鋼亮 ピアノ：居福健太郎
- ・平成29年1月22日(日)演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団
指揮：オンドジェイ・ブラベッツ ヴァイオリン：大谷康子
- ・平成29年2月1日(水)演奏：NHK交響楽団
指揮：高関健 ヴァイオリン：青木尚佳
- ・平成29年2月10日(金)演奏：東京フィルハーモニー交響楽団
指揮：三ツ橋敬子 ピアノ：田中正也
- ・平成29年2月24日(金)演奏：読売日本交響楽団
指揮：ミヒヤエル・バルケ ピアノ：シャルル・リシャール=アムラン

- ・平成 29 年 3 月 2 日（木）演奏：東京都交響楽団
指揮：梅田俊明 ピアノ：小山実稚恵
 - ・平成 29 年 3 月 8 日（水）演奏：東京交響楽団
指揮：山下一史 チェロ：上森祥平
 - ・平成 29 年 3 月 23 日（木）演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
指揮：垣内悠希 ヴァイオリン：周防亮介
- (3) 室内楽等 (3 団体 3 公演) 東京文化会館小ホール
- ・平成 29 年 1 月 19 日（木）「3 大 B ソナタの夕べ」
チェロ：山崎伸子 ピアノ：野平一郎
 - ・平成 29 年 2 月 14 日（火）「ピアノ三重奏の夕べ」
ピアノ：須関裕子 ヴァイオリン：辻彩奈 チェロ：堤 剛
 - ・平成 29 年 3 月 3 日（金）「弦楽四重奏の夕べ」
クアルテット・エクセルシオ
ヴァイオリン：西野ゆか、山田百子 ヴィオラ：吉田有紀子 チェロ：大友肇

3 調査研究及び権利擁護活動（調査、資料収集）

(1) 「演奏年鑑 2017 音楽資料（通巻第 43 号）」の刊行

＝文化庁委託事業「平成 28 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝
B 5 判 590 頁 1,630 部 関係機関及び資料提供団体等に配布。

国内において様々な形態で開催されているクラシック音楽の演奏会を都道府県別にジャンル分けして数値化したものの他、楽界展望はじめ各種音楽団体・音楽家人名録及び新進演奏家の活動の指針となるテーマを重点的に調査し掲載したものを 590 頁にまとめ発行した。さらに紙媒体だけでなく当連盟のホームページ上で閲覧可能な情報は可能な限り公開するよう努めた。

(2) 機関紙・月刊「えんれん」の発行と情報誌「ぶらあぼ」の配布

B 5 判 8 頁建 3,710 部 会員及び関係団体等に無料配布。

国の文化予算はじめ文化行政に関する事項、国公立音楽系大学教員公募、オーケストラ楽員募集など、我が国の楽界における様々な情報をまとめ機関紙として毎月 1 回発行し、情報の周知に努めた。

(3) 著作隣接権の権利擁護と個人分配に協力

一般社団法人演奏家権利処理合同機構 MPN を構成する団体の一員として、演奏家が有する著作隣接権の様々な諸権利に基づく報酬が適正に分配されるよう、広報活動、委任契約促進活動などを積極的に行った。また、MPN に設置したクラシック委員会（日本音楽家ユニオン、日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟）の中心団体としてクラシック部門の報酬分配のための作業を積極的に推し進め、2014 年度徴収分のクラシック部門の個人分配作業を行った。

2014 年度徴収分…616 件 59,445,536 円

(4) 芸術家会議の活動、その他芸術文化団体との連携協力

日本演奏連盟が事務局を務める芸術家会議は全国の 41 の芸術創造団体で構成する組織で、会員団体はオーケストラ、オペラ、合唱、バレエ、演劇、伝統芸能など幅広いジャンルから構成されている。同会議では設立以来 40 有余年にわたり国の文化予算の拡充及び芸術団体に対する税制改正等を求める活動を行ってきたが、平成 28 年 3 月に政府の「まち・ひと・しごと創生本部」により、東京一極集中を是正する観点から政府関係機関の地方への移転に関する基本方針が定められ、俄かに文化庁の京都移転が浮上した。その後 8 月には文化庁移転協議会により移転の概要が発表され、平成 29 年度から文化庁の一部を先行的に移転することが明らかになった。こうしたことをふまえ文化庁の機能強化、「施策・事業の執行業務及びそれと密接不可分な政策の企画・立案業務」と「政策の企画・立

案などで東京で行う必要のある業務」の分離などを検討した上で、機能強化及び抜本的な組織改編に係る文部科学省設置法の改正案等が、平成30年1月からの通常国会をめぐって提出される。このような状況の中、超党派の国会議員で構成される文化芸術振興議員連盟では、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたことがきっかけとなって、食が文化として法律的に位置づけられているのかという観点から見直しが始まり、同時に制定以来10数年が経過し世情も変化していることを考慮し、文化芸術振興基本法の一部改正についての議論が進められるようになった。このように文化芸術を取り巻く環境が大きく変わろうとしている現在、芸術家会議が加盟する文化芸術推進フォーラムを中心に「五輪の年には文化省」を合言葉として、文化省の創設を目指して様々に取り組んでいるが、文化省創設の機運が広く国民に浸透するよう、更なる活動を展開する必要があるだろう。

一方、東京都に対しては都民芸術フェスティバルに参加する8団体を構成員に東京都芸術文化団体協議会を組織し、その事務局として平成28年度においても東京都における芸術文化予算の拡充を求める要望を提出する等の活動を行った。

(5) 世界の国際音楽コンクール開催要項の収集と情報提供

ホームページや演奏年鑑で、国際音楽コンクールに関する情報を発信した。

(6) ホームページによる情報発信

日本演奏連盟の事業・催事案内、入会案内、著作隣接権、教員公募、楽員募集など音楽界に関わる様々な情報を発信するとともに、演奏会チケットのインターネット予約販売を行った。

4 助成・奨学活動（応募型）

(1) 増山美知子奨励ニューアーティストシリーズ（年間5公演以内）

ソプラノ歌手の増山美知子さんからいただいた資金をもとに、35歳以下の若い演奏家の本格的自主公演に対して経済的援助（1公演10万円）を行った。

応募件数／15件 採択／5公演

- ・平成28年11月14日（月）窪田健志打楽器リサイタルVo1.3「古（いにしえ）からのリズム、そしてウタ」／名古屋・電気文化会館ザ・コンサートホール
- ・平成28年12月9日（金）埴美里サクソフォンリサイタル～エディット・ピアフを讃えて～／東京オペラシティリサイタルホール
- ・平成29年1月21日（土）オオサカンサクソフォンカルテットデビューリサイタル／大阪・阿倍野区民センター小ホール
- ・平成29年2月13日（月）アンサンブルジョーカーデビューコンサート／すみだトリフォニーホール小ホール
- ・平成29年3月5日（日）藤井恵ピアノリサイタル／銀座・王子ホール

(2) 宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度（給付型）

特定非営利活動法人イエロー・エンジェル（愛知県名古屋市）の宗次徳二理事長から支援を得て、プロのクラシック音楽の演奏家を志す全国の優秀な学生、若手演奏家に対し、教育機関での学業費用または国内での研修費用等を支援する奨学金制度（返済不要の給付型で月額5万円）を28年度も実施した。平成28年度は、書類審査、CD審査、実技審査を経て下記の15名を平成29年度奨学生に決定した。なお、当制度の支援期間は最長で2年間までとなっている。

応募総数 77名 奨学生 15名

新規：秋元孝介（ピアノ）、浅原由香（オーボエ）、伊藤優里（フルート）、
宇多村仁美（ソプラノ）、小川葉奈（ソプラノ）、北田千尋（ヴァイオリン）、
久保山菜摘（ピアノ）、住谷美帆（サクソフォン）、前川健生（テノール）、
山下裕賀（メゾソプラノ）

更新：太田沙耶（ピアノ）、小竹島紗子（ピアノ）、清水勇磨（バリトン）、
塚田尚吾（ピアノ）、山影頼楓（ヴァイオリン）

5 啓蒙・啓発活動

(1) 日本演奏連盟の後援名義使用承認状況

会員が主催するリサイタル及び室内楽、または各種演奏団体が主催する催事について後援名義使用申請を受けて常任理事会で協議し、後援名義使用を承認した。

・年間申請件数 137件　うち承認件数 137件

(2) 「コンサート・アシスト」事業の実施

演奏家の自主リサイタルの開催を有料でサポートする事業をコンサート・アシストとして実施した。平成28年度は3公演のマネジメントを行った。

- ・平成28年10月28日（金）大塚啓子ソプラノリサイタル～音楽の夜会／けやきホール
- ・平成28年11月4日（金）長島剛子・梅本実 リートデュオ・リサイタル～世紀末から20世紀へ Part XV <ユダヤ人作曲家の歌曲を集めて Vol. 2>／東京文化会館小ホール
- ・平成29年3月12日（日）菅佐知子ピアノ・リサイタル／王子ホール

(3) 東日本大震災復興支援事業の協力

日本赤十字社福島県支部の東日本大震災復興支援事業に協力し、被災した地域の小中学校等に演奏家を派遣する事業を平成25年から実施している。平成28年度は下記の1地域に和楽器奏者を派遣した。

- ・平成28年11月11日（金）「都路地区小・中学校音楽祭」／田村市立都路中学校体育館
太棹三味線：鶴澤津賀寿　中棹・細棹三味線：大和櫻笙
箏、中棹三味線（唄）：下野戸亜弓　笛：鳳聲千晴　囃子：藤舎千穂

II その他の事業（相互扶助等事業）

1 会員向け事業

(1) 「山田康子奨励・助成コンサート」（年間6公演以内）

ピアニストの故山田康子さんから提供を受けた資金をもとに、会員が主催する意欲的かつ創造的な演奏会に対して経済的な援助を行う事業で、助成枠を年間6公演以内とし、常任理事会で厳正に審査し決定した。今年度は6公演を助成した。

（総申請件数 8件）

- ・平成28年5月14日（土）丸山滋ピアノリサイタル／札幌コンサートホール Kitara 小ホール
- ・平成28年5月28日（土）ファイン・デュオ30周年記念演奏会第1回<日本人初のヴァイオリン・ソナタ、幸田延から現代に至る邦人作品>／横浜みなとみらいホール小ホール
- ・平成28年6月17日（金）水谷川優子チェロリサイタルシリーズ Vol. 9 バッハ～響きの鏡像～／東京文化会館小ホール
- ・平成28年10月26日（水）堀江真理子ピアノコンサート2016 矢代秋雄へのオマージュ～矢代秋雄没後40年記念～／東京文化会館小ホール
- ・平成28年11月5日（土）第45回グループUNO 記念演奏会／iichiko 音の泉ホール
- ・平成28年11月12日（土）岡田博美ピアノリサイタル2016／東京文化会館小ホール

(2) 「日本演奏連盟会員名簿」（年1回）の発行

B5判 124頁 3,500部 11月に全会員に配布。

(3) 福祉厚生に関する互助業務

互助規程に則り、互助給付を行った。

互助給付の最近の実績

(単位：千円)

給付内容	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入院給付	1,345 (20 件)	1,340 (16 件)	3,020 (27 件)	1,275 (11 件)
死亡給付	840 (10 件)	770 (9 件)	1,510 (16 件)	580 (6 件)
健診補助給付	173 (58 件)	160 (54 件)	158 (53 件)	155 (52 件)
永年祝金給付	1,218 (22 件)	1,224 (23 件)	1,458 (26 件)	1,080 (19 件)
熊本地震会費免除分及び見舞金				323 (14 件)
合計	3,576 (110 件)	3,494 (102 件)	6,146 (122 件)	3,413 (102 件)

(4) 芸能に従事する人の国民健康保険等の事務取り扱い

公法人東京芸能人国民健康保険組合が管理する国民健康保険への加入の事務取り扱いを行った。

平成 29 年 3 月末現在の加入状況は、次のとおり。() 内は前年実績

- ・ 芸能人国民健康保険加入者 53 人 (59 人)

また、当連盟と提携している東京海上日動火災保険株式会社との所得補償保険、傷害保険・賠償保険の事務手続きを行った。

(5) 会員のための税務相談

顧問税理士による会員のための税務相談を確定申告時期に実施し、申告書作成に協力した。

平成28年度事業報告書の附属明細書

平成28年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。